

0才から18才までの 子育て支援ネットワークの構築

社会福祉法人 太陽（愛知県）

住所	〒476-0007 愛知県半田市西大矢知町4丁目61番地の1	
TEL	0569-89-8998	
URL	https://www.taiyo-asahi.com/	
経営理念	共に生きる力と心を育む	
事業内容及び定員	認可保育所：2ヶ所（30名） 1ヶ所（243名） 小規模保育所：2ヶ所（18名） 企業主導型保育所：1ヶ所（18名） 1ヶ所（12名） 放課後等デイサービス：3ヶ所（10名） 児童発達支援事業：3ヶ所（10名） 学童保育所：2ヶ所（45名） 子育て支援拠点事業（2ヶ所）	
収入 (法人全体) 令和3年度決算	①社会福祉事業	720,431,626円
	②公益事業	0円
	③収益事業	0円
職員数 (法人全体)	211名（非常勤を含む）	

社会福祉法人 太陽



多角化、多機能化経営実践事例

0才から18才までの
子育て支援ネットワークの構築

 社会福祉法人 太陽

太陽が考える子育て支援ネットワーク

子育て支援には多角化、多機能化が必要です。

太陽は点と点が線となり
繋がる支援を目指します。



社会福祉法人太陽

【子育て支援室 たいようの家】

- ★子育て支援拠点事業
- ★利用者支援事業
- ★相談支援室
- ★ホームスタート事業
- ★小学生、中学生の学習支援
- ★不登校児の受入れ
- ★子ども食堂

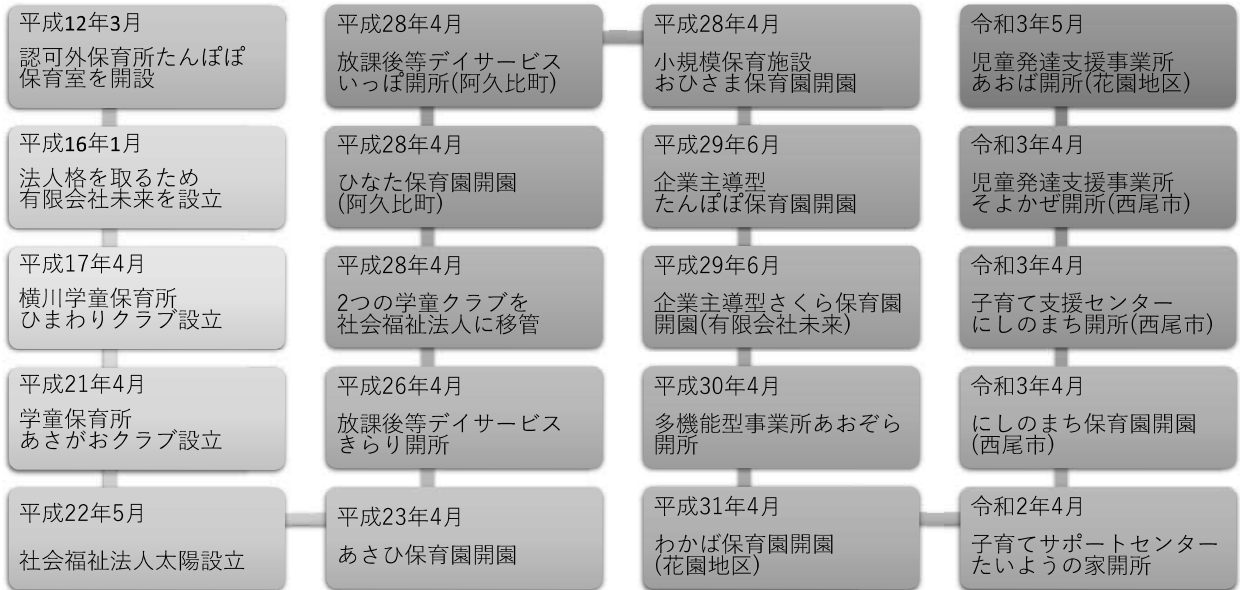
- | | |
|---------|---|
| 0、1、2才児 | あさひ保育園・ひなた保育園
おひさま保育園・わかば保育園 |
| 0～5才児 | にしのまち保育園
企業主導型保育所 さくら保育園・たんぼぼ保育室 |
| 未就学児 | 児童発達支援 あおぞら、あおば、そよかぜ |
| 小学生 | 放課後等デイサービスきらり
放課後等デイサービスいっぽ
ひまわりクラブ・あさがおクラブ
(放課後児童クラブ) |
| 中高生 | 放課後等デイサービス あおぞら |

公共施設との
相談、連携

民間団体の利用支援、
援助各施設の利用支援

連絡調整、連携、協働の体制づくり、
地域の子育て支援の育成、開発等、
地域市民サークル支援

社会福祉法人 太陽の沿革



①太陽の沿革

• 平成12年3月

認可外保育所たんぽぽ 保育室を開設

一人の園児から始まった託児所。

- 待機児童の受け皿
- 当時申し込み資格が無かった夜のお仕事のお母さん。
- 専業主婦のリフレッシュ

②太陽の沿革

平成17年4月、21年4月ひまわりクラブ
あさがおクラブを開設



放課後の小学生の居場所がない？

- ふと見渡せば、小学生の多い地域なのに、子どもたちの声が聞こえてこない。

この小学校区には、学童保育所がない！！

子育ては保育園も小学校もずっと続く
たんぽぽを卒園した子どもたちを継続して見守ることができたら。

③太陽の沿革

平成22年5月 社会福祉法人太陽設立
平成23年4月 あさひ保育園開園

- 職員の処遇と経営基盤を安定させて、
質の高い保育を提供したい。



- 認可保育所と社会福祉法人を立ち上げ！！
約3年間の準備期間を要しました

④太陽の沿革

平成26年4月 放課後デイサービスきらり開設



・学童保育所で見えた課題

発達に凹凸のある支援学級の子どもたち。
専門的に丁寧に支援できる施設があったらいいなあ。

学童の隣に放課後等デイサービスを創ろう！

学童の隣に放デイを設置。放デイの開所時間外を学童で過ごすことで療育を受けながらお母さんがしっかり働くことができます。

放デイを利用することで、子どもたちがぐっと落ち着きました。

⑤太陽の沿革

平成30年多機能事業所あおぞら開園（児童発達）

・放課後等デイサービス開設から見えた課題

小学校高学年で初めてきらりにきた子どもたち
就学前に育てておくことがあるのでは？
自己肯定感、困った時の自己対処法、
感情の表現、大人への信頼



発達に凹凸のある子どもたちに豊かな幼児期を提供したい！
一人、一人に相応しい療育が出来るように、
児童発達支援事業を創ろう！

⑥太陽の沿革

平成30年多機能事業所あおぞら開園（放デイ）

- 放課後等デイサービス開設から見えた課題

放デイは6才から18才までの施設。
年齢に応じたふさわしい支援がしたい。

中高校生向けの放デイを創ろう！

自立に向け、就労、社会参加、継続する力に焦点を絞った
放課後等デイサービスあおぞら創設。

⑦太陽の沿革

平成31年4月 小規模保育所 わかば
令和3年4月 児童発達支援 あおば

保育所と児童発達支援の一体的な支援が必要ではないか？

保育所
発達が気になる子に向けての保育士研修
児発
働くお母さんの延長、早朝保育の確保

保育所と児発にて、
支援の共有、延長早朝の支援。



⑧太陽の沿革

令和2年4月 子育て支援拠点事業 たいようの家開設



- 児童発達支援、一時預かりなど、子育て支援から見えた課題
子育てが孤育てになりやすい現代。

少子化のため実践が少なく情報が多く、不安に陥りやすい子育て環境

子育て支援拠点事業と保育所、学童保育所、児童発達支援から放課後等デイサービス。
地域の小学生全般の居場所作り・予防的支援・・・0才から18才までの繋がる支援

- 学習支援（わくわくクラブ）
- 長期休み時学習支援（ホップ、ステップ）
- 子ども食堂

母と子の家庭訪問事業（ママのサポートリング）

- 子育て支援センターに出向けない母子へのアウト
リーチサポート



⑨太陽の沿革

令和3年4月 西尾市の認可保育園民営化にて 保育所、子育て支援拠点事業、児童発達支援 同一敷地内に設置



- 子育て支援センターにしのみち
- 0才から5才のにしのみち保育園
- 児童発達支援事業 そよかぜ

- 児発を知らないお母さんに気軽に見学してもらえる
- 児発と保育所と、保育士間で成長の様子を共有できる
- 職員の意識の向上・・・発達について、保護者支援について



多角化・多機能化 子育て支援を柱にすべてが繋がる



一人の子どもが育つ過程を親に寄り添い見守りながら一緒に子育てしていく拠点。

子育て支援センター、保育園、児童発達、学童、放課後等デイサービス（小、中、高）法人本部・・・

同中校区に歩いていける距離に9つの施設が点在します。

予防的支援が必要なこれからの時代、子育てを柱に法人の事業を多角化、多機能化することで地域に支援の輪を広げます。

地域の身近な相談先である「かかりつけ相談機関」を保育所とその法人が担っていきます。

多角化、多機能化。運営、経営面でのメリット


- ・一か所でじっくり働きたい人、いろいろな施設に行きたい人、人それぞれ持っている特性に応じて活躍できる。
- ・保育士が保育だけでなく障がいや子育て支援に関わることで、新しい職員の能力の発見となる。
- ・保育士から児発に入った人、学童から法デイに関わった人、いろいろな進路の広がりがあります。
- ・保護者とも長いお付き合い、子どもの成長を共に喜び合える関係が築きやすい。
- ・施設や事業が変わっても、利用者さんの背景が理解しやすい。
（子育て支援・・・保育園・・・児発・・・法デイ・・・など）
- ・保育所、小規模保育、学童、法デイ、児発・・・この地区の8か所の施設の給食は全て1か所の認可保育所の調理室で調理し、外部搬入しています。
給食費に係る人件費が削減されます。

保育、児童、障がい、高齢それぞれのいろいろな課題が絡み合っています。

多角化、多機能化することのメリットはまだ未知数。

途切れのない支援を目指して、0才から18才の子育て支援ネットワーク創りに尽力します。

社会福祉法人 太陽

 社会福祉法人 太陽